

平成30年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		9-	2
事業名	予防接種事業費	会計	款	項	目
		一般	4	1	2
施策	2 人にやさしいまち	課名	健康づくり課		
	2-1 健康に暮らすまちをつくる	係名			
	2-1-1 自らの健康づくりの推進				
主要施策	⑥感染症対策の推進				

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>伝染のおそれがある疾病の発生及び蔓延を予防するため、予防接種法に基づき定期接種を実施する。</li> <li>長期の入院等やむを得ない理由で、委託外医療機関で予防接種をした方に、委託単価相当額を助成する。</li> <li>任意接種として生後6か月から未就学児に対する乳幼児インフルエンザ接種費用の一部を助成する。</li> </ul>			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	平成31年(目標)	
指標	1	BCG接種率	97.7	93.4	100	%	→	95	
	2	麻しん・風しん混合ワクチン接種率	95.2	97.6	98.6	%	→	95	
	3								
	4								
	5								
			平成29年度(決算)		平成30年度(決算)		平成31年度(予算)		
全体事業費(千円) A+B					68,238	68,308	80,911		
財源内訳	直接事業費 A					63,318	66,958	77,551	
	うち一般財源					63,318	66,958	74,422	
人件費(千円) B					4,920	1,350	3,360		
内訳	一般職員(人・千円)			0.2	1,320	0.15	990	0.4	2,640
	臨時職員(人・千円)			2	3,600	0.2	360	0.4	720

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続(事業を現状どおり継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30年度の改善計画	/		③取組の課題	接種拒否する対象者を減らし、定期接種の適正実施を進める。
②H30年度に実施した取り組み	長期入院等やむを得ない理由で、委託外医療機関で予防接種をした方に対し、委託単価相当額を補助する制度を設けた。		④今後の改善計画	接種の必要性について、丁寧な説明が必要となる。